

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年3月7日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673100105
法人名	有限会社 タンポポ福祉館
事業所名	グループホーム タンポポ福祉館
所在地	鹿児島県鹿児島市春山町1855番7 (電話) 099-278-7110
自己評価作成日	平成26年2月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年2月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1. 玄関先の庭園には、季節の花が咲き誇り、天気の良い日は、利用者の皆さんで外気浴を楽しまれる。歌を唄ったり、ゲームや歩行リハビリ等のレク活動が行われている。
2. 利用者一人ひとりを一人の人と捉え尊重し快適な生活が送れるように思いやりを持って支援を行い、尊厳に配慮している。
3. 利用者の生活歴や趣味を活かし、食事作りや手芸を行ったり、家庭的な雰囲気の中に共に支え合い生活している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・家族や職員が、誰でも理解できる理念を皆で考え、理念は玄関など数箇所に掲示している。全職員が揃う毎日の昼の申し送り時に唱和し、利用者と一緒に理念を確認することもあり、日々のケアにつなげている。
- ・近く美容室や店に買い物に出かけて交流したり、ボランティアの受け入れを行っている。中学生・高校生の体験学習の受け入れも行っている。お達者クラブに参加する利用者もいて地域との交流を図っている。
- ・運営推進会議は定期的開催し、ホームの行事や活動状況を写真を添付して紹介したり、外部評価の結果報告をして意見交換を行い、出された意見を利用者ケアに活かしている。
- ・家族会では、賑やかに食事会をして、そのときホームに対する希望や要望を聞いている。家族へ毎月、手紙で利用者の状況報告をしている。
- ・天気の良い日には、庭で日向ぼっこや体操を行っている。少しでも戸外に出るように声かけし、日常的に外出支援を行っている。
- ・管理者や職員は、チームワークがよく、日々のケアの資質向上に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念はホール内の数カ所に貼り日々のケアの中で意識して取り組んでいる。又毎日の申し送り時に唱和している。	家族や職員が、誰でも理解できる理念を皆で考え、理念は玄関など数箇所に掲示している。全職員が揃う毎日の昼の申し送り時に唱和し、利用者と一緒に理念を確認することもあり、日々のケアにつなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者様が高齢化して、自ら外出する事ができない。 美容室、お達者クラブなど送迎で利用しながら地域との交流を図っている。	近くの美容室や店に買い物に出かけて交流したり、ボランティアの受け入れを行っている。中学生・高校生の体験学習の受け入れも行っている。お達者クラブに参加する利用者もいて地域との交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域活動が困難になってきたため老人会、子供会、小・中学生の職場体験、ボランティアの受け入れを通じ、地域貢献している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>利用者、家族、民生委員、地域包括支援センター、職員等の参加で会議を開催し、地域の行事や現状、ホームの行事、サービスの実態や意見や要望に対して、検討したり助言を頂いている。</p>	<p>会議は定期的開催し、ホームの行事や活動状況を写真を添付して紹介したり、外部評価の結果報告をして、意見交換を行い、出された意見を利用者ケアに活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>利用者の関わりについて何らかの疑問点や分からないことがある場合は、市の担当者や包括支援センターに相談し、指導助言を受けている。</p>	<p>市の担当者とは利用者の更新手続きや事業所の実情等を報告し相談して、情報提供やアドバイスを得ている。地域包括支援センター職員とも連携を取りながら協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>利用者の行動を制限しないケアに取り組んでいる。又月1回のミーティングの場で、具体的な行為を上げ、職員が理解し確認を行っている。</p>	<p>毎月のミーティングの中で全職員が拘束をしないケアの実践、言葉の拘束も含めて話し合いを行っている。玄関の施錠については、利用開始時に幹線道路に面して安全の為に施錠している旨を利用者・家族に了解得ている。日中は庭や畑・散歩・日向ぼっこ等、自由に外出するようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加し、該当する行為を見過ごされることがないようにミーティングの場で報告し検討している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>地域包括支援センター主催の研修「成年後見制度」に参加し、密接な関係を築いている。個々に必要な方には、活用出来るよう働きかけたい。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者が家族と面談し、施設見学をされる時、又契約を行う時「重要事項説明書」を説明し、理解納得して頂いている。家族会でも折にふれ説明している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>いつでも誰でも意見や要望、苦情等表出できるよう意見箱の設置、電話での苦情等は記録に残し、問題点はミーティングで話し合う。利用者や家族の面会時、話しやすい雰囲気を作り対応している。</p>	<p>利用者からは日常の生活の中で思いを聞いている。家族からは、面会時に日頃の様子を伝え対話の機会を設け、意見や要望を聞いている。家族会では、賑やかに食事会をして、そのときホームに対する希望や要望を聞いている。毎月、手紙で報告したりしている。出された意見は、全職員で話し合いながら運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回のミーティングの場で意見や要望、提案を出し、個々に応じて対応し、反映させている。</p>	<p>申し送り時や毎月のミーティング時等に話し合いを行い、利用者の状況変化に伴う事故防止に対する課題や提案・すべり防止マットや体重計の設置、車椅子への対応・勤務体制の提案等があり、出された意見は運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務表で勤務状況を把握し、急用、病気の時など、管理者や他の職員が出勤し対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者は個々の職員に必要と思われる研修について、参加してもらっている。研修内容はミーティングで報告し、復命書に記入している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会に参加。その時々研修や忘年会等に参加し、交流する機会を多くし、質の上場に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者が面談、相談を行い、その都度、施設見学をして頂く。入居出来ない場合は、他のサービス機関を紹介する。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の要望、意見を充分聞き、信頼関係を築く努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受け必要なサービスを必要な時に利用出来るように努めている。居宅療養管理指導、通所リハビリ等のサービス利用も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の大先輩であることを念頭に置き、日々の生活の中で得意とすることを引き出し、そういう機会を多く作ってあげることの良い関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	気になることや状況を毎月1回お便りでお知らせし、面会時には家族の希望や意見を伺う。又ホームでの様子を見て頂いたりお知らせして支え合う関係作りを行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の老人会やボランティアの方を招いて、その中で馴染みの方との触れ合い交流を深めている。	馴染みの美容室に出かけたり、地域の老人会の方が訪ねてきてくれたり、家族の協力で墓参りやカラオケ・外食に出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者自身が周りの方々のできないこと等を知り、お互い助け合いながら支え合っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院にお見舞いに行ったり以前撮った写真を送付したりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中で希望、意向を尋ねたり時間を設けて利用者との向き合い、聴くようにしている。困難な場合は、家族と職員が連携し、情報を交換しながら検討している。	日々のケアの中で会話しながら「ここでの暮らしを続けたい」等、利用者一人ひとりの意見や要望の把握に努めている。困難な場合は、家族と職員が連携し情報交換を行い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報や入居者台帳等を参考に生活環境や生活歴を把握し、又本人、家族、主治医、ケアマネジャーからの情報収集にも努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の言動や生活態度、バイタルチェック等で理解するよう努めており、毎日の申し送りの中で情報を共有している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	原則3か月1回見直しを行い、変化があれば本人、家族と話し合い、その都度見直しを行っている。又毎月のミーティングの場で職員で検討している。	定期的に、本人や家族・職員等で話し合いを行い、現状に即した介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングと評価表を確認し、状況の変化があれば随時見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の状態変化やケア記録を個別に書き、申し送りで情報を共有している。ケアプランを元にし、評価に取り組み計画の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人・家族の状況、その時々により異なるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族の要望に応じて通院、受診介助や送迎等必要に応じて支援している。管理者と連携を取り、柔軟な対応を心がけている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員の方々には、苦情処理の第三者委員と推進委員になって頂いている。消防署には、年2回消防訓練、救命講習等行ってもらっている。小・中学生には職場体験。老人会、商工会婦人部によるボランティア活動を行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している	原則は家族に通院受診して頂いている。場合によっては受診支援も行っている。医療機関により訪問診療や居宅療養管理指導契約を行い、安心して24時間医療を受けられるよう支援している。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。かかりつけ医への通院受診は家族に協力依頼し、高齢家族の場合は職員で受診支援をしている。利用者・家族の希望により協力医療機関での訪問診療や入院治療等、適切な医療を受けられる体制を取っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>准看護師と介護職員が連携を取り、協力病院へ連絡を取りながら健康管理、医療の支援を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者に関する情報を医療機関に提供し、必ず見舞うようにしている。又医療機関との情報交換も行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族会や面会時にターミナルケアについて説明し方針を理解、納得して頂いている。又職員もミーティングの中で話し合い方針を共有し、共有したケアの考え方をもって支援している。</p>	<p>ターミナルケアについては、利用者の状態変化に伴い、本人や家族に説明し、希望に応じて対応している。ケアの方針を共有し、常に家族と共にチームケアで支援している。終末期の利用者との感動的な場面を体験している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署を招き意識レベルの確認し、心肺蘇生術、誤嚥による窒息の救急法も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得て避難訓練、消火器の使い方など定期的に訓練を行っている。	年2回、消防署の指導のもと昼夜間想定で、民生委員等の参加を得て避難訓練や救命救急訓練を実施している。地域住民にも声かけをしている。定期的に自主訓練も行っている。災害時の水や食料の備蓄もある。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者のプライドが傷つかないように声かけには十分配慮している。又入居時には、契約書を作成し、署名捺印し、個人情報の取り扱いにも気を付けている。	利用者を尊重し、穏やかな介護を心がけ、常に声かけの方法を考えながら、トイレ誘導や入浴・着替え等の折に、人格を損ねないような対応や言葉かけに配慮している。個人情報保護についても掲示している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員はその人のあるがままを受け入れ、自分の意志で選択し決定できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入所時の家族や本人からの情報等を生かしながら、一人ひとりの声に耳を傾け支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	理容、美容は近所の店を利用し、本人の好みに合わせている。外出時は本人の意向に沿って着替えを行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの力を生かし、調理、配膳、下膳を職員と行っている。又音楽をかけて落ち着いた雰囲気の中で食事を楽しむ工夫をしている。	誕生日や行事の折には、利用者の食べたい物をリクエストしてもらい・嚥下機能低下のある人は医者と相談し食事形態を検討している。季節折々の状況に応じて、例えばひな祭りの音楽が流れたりして、楽しく食事をしている。個々の力に応じて食事の準備や配膳・下膳を職員と一緒にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎回食事量のチェックと1か月に1回体重測定を行い、栄養状態に関しては、研修を受講した職員が定期的にチェックしている。水分も個々に気を付け支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけして一人ひとりにあった支援を行っている。夜は、義歯洗浄剤に浸している。週1回コップ歯ブラシの洗浄消毒を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の利用者に応じた時間での声かけをし、支援を行っている。	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、タイミングを見ながら声かけを行い、トイレ誘導がスムーズにできている。夏場は布パンツを使用している。車椅子使用している利用者も日中はできるだけ2人介助でトイレでの排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事以外でも時間を決め、十分な水分を摂ってもらうよう心がけている。繊維性の食品を取り入れ、適度な運動を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日や時間帯などの決まりはあるが、希望に応じて柔軟に対応して、都合のある時は、別のユニット対応もある。無理強いすることはない。	入浴日はユニット別に月・水・金と火・木・土と決めているが、利用者の希望やタイミングを見て支援している。入浴時も声かけして、会話しながら入浴が楽しめるように支援している。入浴をいやがる時は、別のユニット日に対応したりしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中に十分な活動を行い、就寝前の刺激を避け、良い睡眠ができるよう支援している。又布団干しを行い、気持ち良く寝れるよう配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書を各個人別にファイルし、全ての職員が把握出来るようになっている。薬剤の変更があった場合など留意し、観察を行っている。飲み間違いのないよう一人ひとり手渡しで、確認しながら服用させている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事手伝いや昔好きだった手芸を行ったり、四季折々の塗り絵を楽しまれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>個々の希望により、玄関の庭で雑談されたり、近くのお店へ茶話会へ出かけたり、花見や初詣へ出かける。</p>	<p>天気のよい日は庭に出て日向ぼっこや体操をしたり、散歩で近くの店に出かけてお茶を楽しんだりしている。季節によって花見や初詣等も家族に協力を得て外出の支援を行っている。地元の物産館に行く計画もしている。家族の協力を得ながら外出支援をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族、本人の希望で小額持っておられる方もいる。個々の利用者の希望に応じ買い物した場合、個別に出納帳に記入し家族には月1回お便りと一緒に報告している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>各ユニットに電話を置いてあり利用出来るようにしている。手紙を書けない利用者に対しては、職員が代筆を行っている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない